鈴木　淳

すずき　あつし

旧姓：田甫
日高郡由良町出身
1990年5月生
妻は1学年後輩の
（植田）和華さん

取材日：令和2年12月6日

高校時代は、外野手として甲子園で活躍し、現在は「どんぶリーマン」として活躍している鈴木さんからお話を伺いました。

どのような経緯で智辯和歌山に入学したの？

ご存じのとおり、智辯和歌山は少数精鋭のチームで1学年10人前後しかいません。僕の場合は、中学校のチームにスカウトと思われる人が見に来ました。グラウンドに来て、いろんな選手を見ていたと思います。自分自身も智辯和歌山への進学を希望していましたからセレクトされた時はうれしかったです。

練習は…想像していたのですが、レベルは全然違いました。

甲子園での成績は？

僕は、岡田選手の一つ先輩、西川選手の二つ先輩になる世代ですが、高校時代を通じての最高は1年の時のベスト4で、レギュラーとなった僕らの時は春、夏ともにベスト8でした。背面キャッチしたのは春です。センターで7番を打っていたのですが、レギュラーを獲った3年の春と夏、トータルで26打数10安打です。

それだけははっきりと覚えています。

高校時代の想い出となると、やはり3年の春夏の甲子園ですか？

野球漬けでしたからやはり甲子園ですね。あそこに立つとやっぱり違いますね。アマチュアで野球をやっていて、あれほどの観客に囲まれて、紀三井寺球場もたくさん観に来てくれますが、甲子園は外野も満席なので、四方八方、360度見渡して、お客さんがいる状況でプレーをする機会なんてないですよ。カーンという打球音。打球がスタンドに入ったり外野手を抜けたときのウォーという歓声。お客さんのその反応が一番いいですよね。魅力ですよね。

卒業してから、どうしたのですか。

卒業後は、龍谷大学に進学しました。野球部に入部しましたので、ここでも野球漬けでしたね。寮生活でしたし、下級生の時はしんどかったですね。上級生になると楽しかったですけど。（笑）

龍谷大学も強いチームで最後の年に全国ベスト4まで進みました。1年からベンチ入りしていたのですが、右のピッチャーが苦手だったので、出場したりしなかったりでした。副キャプテンも務めましたので、チームを引っ張る立場にはいたのですが、あまりめだった活躍はしていないですね。ポジションはやっぱり外野で、大学ではパリーグみたいなDHもあるので、そのどちらかでしたね。成績は甲子園のように覚えていないです。ぼちぼちって感じです。大学卒業後は1年間勉強して、卒業の翌年に和歌山県庁に採用されました。いわゆる就職浪人ですね。この1年間は結構勉強しました。

大学時代の鈴木さん

入庁後、最初は管財課に配属され庁舎管理を担当しました。その後今の部署、日高振興局地域振興部企画産業課に異動となり、今年で5年目ですね。企画産業課では、この地域の観光や物産の振興を担当しています。

「どんぶリーマン」はいつからやってるの？

1年くらい前からです。去年の7月くらいに1本Youtubeにアップしました。今、全部で6本アップされています。

言い出したのが僕で。僕としては動画で何かPRできないか、ということで、新しい事業を始めようということだったのですが、企画案を提出したところそれが採用されて。ただ、内容が誰かが映って、誰かが食べていて、ということが必要だったのですが、誰もやってくれそうになかったので、「お前がやれよ。」ということになりました。映像の編集は、「地域おこし協力隊」の由良町の職員の方がしてくれるのですが、撮影の時は一回撮りしかできないので、料理は提供していただいているので、何回も撮り直しができません。一回でちゃんと食べるっていうことは難しいですね。きれいに、見栄えよく食べなくてはいけないので、そのへんが難しかったです。

サラリーマンというコンセプトはどこから？

企画を作るときに、サラリーマンとかに焦点あててやっていった方が、いろんな人が見てもらえるのかなって。食べるのは「どんぶり」ってことにしましたので、その手軽さとか安さとかをメリットに、サラリーマンがさらっと食べてるっていうかたちでPRしたいと考えたのです。実際、観光地なので、サラリーマンはあまり来ないとも思うのですが。（笑）そういったギャップもありますが、そのギャップも面白いと思いますね。とりあえず7本目をアップできればと思っています。

このPR事業は、美浜町、日高町、由良町の3つの町を結ぶとともに、風光明媚な海岸を持つ県道24号（御坊由良線）をPRするために取り組んでいるものであり、限定された狭い範囲でやっていますが、ネタがなくなるまでやろうと思っています。

左は物産をPR中の鈴木さん
右は上司の企画産業課長（当時）で先輩（昭和62年卒）の垣内さん

今後はどのような仕事を担当したいですか。

まだ考えていないですね。前任の企画産業課長が以前大手スーパーに出向されて、結構勉強になった、楽しかった、と言ってました。外郭団体なんかもおもしろそうですね。今は観光を中心とした振興ですが、その他にも商工・林業等といった産業の振興に携わってみたいです。

観光PRする鈴木さん

地域としては、日高に関係するところがいいです。大学卒業後、和歌山に戻ってきて和歌山県職員を目指した理由は、地元のために何かできないか、という思いがあるので。地元というのは、和歌山県全体というのもありますが、もっと狭いエリアで、地元の地域の振興をしたいです。本庁に異動しても、日高に関係していきたいですし、日高を忘れないようにやっていきたい、という思いがあります。

後輩たちに何かアドバイスはないですか。

まだ30歳なので、こんなことやっておけばいいよ、といったアドバイスみたいなものはありませんが、僕がやっておけばよかったと思うことは、アルバイトなどはほどほどにして、その時にしかできないことをもっとやっておけばよかったと思います。勉強もそうですし、いろんなとこに旅行に行って見聞を広げるとか、アルバイトも大事ですが、それ以外の時間の使い方をもっと有効に考えた方がよかったと思いますね。

野球は今も続けているの？

県庁のソフトボール部に所属していますが、野球はもうやっていません。でも、ごくまれですが、新聞記者の方から、以前、僕のことを取材したことがあると言われます。野球好きの方も多いので、野球をやっていたことで話が広がりますね。紀三井寺球場でいつも見かける県庁の職員も多いですし、野球のおかげでつながりができますね。

奥さんは同窓生と聞きましたが在校生からのお付き合いだったのですか？

在校生の時はまったく知りません。クラスも違いますし、野球漬けでしたし。彼女は一つ年下なのですが、ストレートで採用された彼女の同級生が同期にいて、その同級生を通じて知り合いました。まさか、同窓生と結婚するとは思っていなかったです。

今、会いたい先生はいますか？

当時、新人だった先生に会いたいですね。甲子園に出場すると、新人の先生が同行されて雑用をしてくれるのです。ホテルに籠って試合を録画したり、分析したり。僕たちより忙しくしていたのですが、休憩時間なんかにからかいにに行きましたね。勝手に携帯を見たりして。ひどいからかいだったかもしれませんね。智辯の先生とご結婚されたので今もおられるのではないかと思います。

和歌山県庁日高振興局
地域振興部企画産業課
副主査

クリック！
どんぶリーマン

2009年（平成19年）3月
智辯学園和歌山高等学校卒

2013年（平成23年）3月
龍谷大学社会学部卒